

栃木県足利市の林野火災による被害及び 消防機関等の対応状況（第16報・最終報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある）

令和3年3月15日（月）17時30分

消防庁災害対策本部

※下線部は前回からの変更箇所

1 発生日時

発生時刻：令和3年2月21日 調査中

覚知時刻：令和3年2月21日 15時36分（足利市消防本部）

鎮圧時刻：令和3年3月1日 16時00分（足利市消防本部）

鎮火時刻：令和3年3月15日 15時00分（足利市消防本部）

2 出火場所

栃木県足利市西宮町地内（両崖山山頂から南西200m付近）

3 出火原因

調査中

4 被害状況

(1) 人的被害

なし

(2) 住家被害

なし

(3) 林野被害

約106ヘクタール

(4) その他

御岳神社（みたけじんじゃ：両崖山山頂付近）全焼

5 避難勧告等の発令状況

【避難勧告】 合計 305世帯 610人

栃木県足利市西宮町地区 54世帯 108人

本城一丁目 98世帯 196人

五十部町（一部大岩町内） 25世帯 50人

大岩町内 30世帯 60人

本城二丁目内 98世帯 196人

3月1日16時00分 発令されていた避難勧告は全て解除

6 県・市町村の対応

【栃木県】 2月24日 9時40分 災害警戒本部 設置

→3月15日 15時00分 廃止

- ※2月22日 10時35分 自衛隊に対して災害派遣を要請
※2月25日 13時45分 消防庁長官に対して緊急消防援助隊を要請
【足利市】 2月22日 10時00分 災害対策本部 設置
→3月15日 15時00分 廃止

7 活動状況

(1) 地元消防機関

2月21日 足利市消防本部（7台 25人）、足利市消防団（4台 57人）
2月22日 足利市消防本部（18台 82人）、足利市消防団（1台 14人）
2月23日 足利市消防本部（13台 110人）、足利市消防団（9台 71人）
2月24日 足利市消防本部（22台 192人）、足利市消防団（11台 113人）
2月25日 足利市消防本部（10台 59人）、足利市消防団（3台 30人）
2月26日 足利市消防本部（20台 64人）、足利市消防団（2台 10人）
2月27日 足利市消防本部（25台 88人）、足利市消防団（1台 1人）
2月28日 足利市消防本部（29台 54人）、足利市消防団（1人）
3月1日 足利市消防本部（24台 94人）、足利市消防団（2台 34人）
3月2日 足利市消防本部（20台 59人）
3月3日 足利市消防本部（12台 50人）
3月4日 足利市消防本部（7台 17人）
3月5日 足利市消防本部（6台 13人）
3月6日 足利市消防本部（5台 10人）
3月7日 足利市消防本部（5台 10人）
3月8日 足利市消防本部（4台 8人）
3月9日 足利市消防本部（5台 10人）
3月10日 足利市消防本部（5台 10人）
3月11日 足利市消防本部（5台 10人）
3月12日 足利市消防本部（5台 10人）
3月13日 足利市消防本部（1台 3人）
3月14日 足利市消防本部（5台 10人）
3月15日 足利市消防本部（5台 15人）

(2) 県内応援等

2月24日 【栃木県】 36人
宇都宮市消防局（8人）、小山市消防本部（4人）、栃木市消防本部（4人）、佐野市消防本部（16人）、石橋地区消防組合消防本部（4人）
【群馬県】 79人
桐生市消防本部（14人）、伊勢崎市消防本部（4人）、太田市消防本部（45人）、館林地区消防組合消防本部（16人）
2月25日 【栃木県】 59人
宇都宮市消防局（8人）、小山市消防本部（4人）、栃木市消防本部（4人）、佐野市消防本部（10人）、石橋地区消防組合消防本部（4人）、芳賀地区広域行政事務組合消防本部（5人）、塩谷広域行政組合消防本部（6人）、南那須地区広域行政事務組合消防本部（4人）、鹿沼市消防本部（5

- 人)、那須地区消防本部 (4 人)、日光市消防本部 (5 人)
- 【群馬県】 61 人**
桐生市消防本部 (13 人)、伊勢崎市消防本部 (14 人)、太田市消防本部 (24 人)、館林地区消防組合消防本部 (10 人)
- 2月26日 **【栃木県】 55 人**
宇都宮市消防局 (9 人)、小山市消防本部 (4 人)、栃木市消防本部 (5 人)、佐野市消防本部 (8 人)、石橋地区消防組合消防本部 (4 人)、芳賀地区広域行政事務組合消防本部 (5 人)、塩谷広域行政組合消防本部 (4 人)、南那須地区広域行政事務組合消防本部 (4 人)、鹿沼市消防本部 (4 人)、那須地区消防本部 (4 人)、日光市消防本部 (4 人)
- 【群馬県】 38 人**
伊勢崎市消防本部 (14 人)、太田市消防本部 (12 人)、館林地区消防組合消防本部 (12 人)
- 2月27日 **【栃木県】 58 人**
宇都宮市消防局 (9 人)、小山市消防本部 (4 人)、栃木市消防本部 (7 人)、佐野市消防本部 (8 人)、石橋地区消防組合消防本部 (4 人)、芳賀地区広域行政事務組合消防本部 (5 人)、塩谷広域行政組合消防本部 (5 人)、南那須地区広域行政事務組合消防本部 (4 人)、鹿沼市消防本部 (4 人)、那須地区消防本部 (4 人)、日光市消防本部 (4 人)
- 【群馬県】 34 人**
伊勢崎市消防本部 (13 人)、太田市消防本部 (11 人)、館林地区消防組合消防本部 (10 人)
- 2月28日 **【栃木県】 26 台 102 人**
宇都宮市消防局 (4 台 14 人)、小山市消防本部 (2 台 8 人)、栃木市消防本部 (3 台 12 人)、佐野市消防本部 (3 台 12 人)、石橋地区消防組合消防本部 (2 台 8 人)、芳賀地区広域行政事務組合消防本部 (2 台 8 人)、塩谷広域行政組合消防本部 (2 台 8 人)、南那須地区広域行政事務組合消防本部 (2 台 8 人)、鹿沼市消防本部 (2 台 8 人)、那須地区消防本部 (2 台 8 人)、日光市消防本部 (2 台 8 人)
- 【群馬県】 8 台 44 人**
伊勢崎市消防本部 (3 台 12 人)、太田市消防本部 (2 台 22 人)、館林地区消防組合消防本部 (3 台 10 人)
- 3月1日 **【栃木県】 13 台 62 人**
宇都宮市消防局 (3 台 14 人)、小山市消防本部 (2 台 8 人)、栃木市消防本部 (2 台 12 人)、佐野市消防本部 (2 台 12 人)、石橋地区消防組合消防本部 (2 台 8 人)、芳賀地区広域行政事務組合消防本部 (2 台 8 人)
- 【群馬県】 6 台 19 人**
伊勢崎市消防本部 (2 台 7 人)、太田市消防本部 (2 台 6 人)、館林地区消防組合消防本部 (2 台 6 人)
- 3月2日 **【栃木県】 4 台 14 人**
栃木市消防本部 (2 台 7 人)、佐野市消防本部 (2 台 7 人)
- 【群馬県】 6 台 18 人**

伊勢崎市消防本部（2台6人）、太田市消防本部（2台6人）、館林地区
消防組合消防本部（2台6人）

(3) 緊急消防援助隊の活動等

被災県	部隊	活動都道府県	活動隊数・人員	派遣期間
栃木県	陸上	東京消防庁(統括指揮支援隊) 福島県(航空指揮支援隊)	延べ14隊 46人	2月25日～3月1日
	航空 (ヘリ)	東京消防庁、茨城県、埼玉県、 横浜市、宮城県、富山県	延べ42機 282人	2月25日～3月3日

(4) 消防防災ヘリの散水回数等

<合計> 散水回数：626回 散水量：307,910L

- 2月21日 栃木県防災ヘリ（散水回数 2回、散水量 1,000L）
- 2月22日 栃木県防災ヘリ（散水回数 17回、散水量 10,800L）
茨城県防災ヘリ（散水回数 14回、散水量 6,900L）
埼玉県防災ヘリ（散水回数 19回、散水量 5,050L）
- 2月23日 強風のため空中消火実施せず
- 2月24日 栃木県防災ヘリ（散水回数 23回、散水量 13,100L）
茨城県防災ヘリ（散水回数 17回、散水量 8,500L）
埼玉県防災ヘリ（散水回数 13回、散水量 3,800L）
山梨県防災ヘリ（散水回数 13回、散水量 9,360L）
横浜市消防局消防ヘリ（散水回数 5回、散水量 2,700L）
群馬県による航空指揮支援活動
- 2月25日 栃木県防災ヘリ（散水回数 24回、散水量 15,000L）
茨城県防災ヘリ（散水回数 35回、散水量 17,300L）
埼玉県防災ヘリ（散水回数 41回、散水量 22,400L）
宮城県防災ヘリ（散水回数 20回、散水量 8,000L）
福島県・群馬県による航空指揮支援活動
- 2月26日 栃木県防災ヘリ 情報収集（偵察）
茨城県防災ヘリ（散水回数 34回、散水量 17,300L）
埼玉県防災ヘリ（散水回数 20回、散水量 5,950L）
横浜市消防局消防ヘリ（散水回数 38回、散水量 14,100L）
東京消防庁消防ヘリ（散水回数 20回、散水量 7,000L）
宮城県防災ヘリ（散水回数 8回、散水量 3,300L）
福島県による航空指揮支援活動
- 2月27日 栃木県防災ヘリ（散水回数 28回、散水量 18,100L）
富山県防災ヘリ（散水回数 7回、散水量 4,650L）
埼玉県防災ヘリ（散水回数 20回、散水量 12,000L）
東京消防庁消防ヘリ（散水回数 23回、散水量 9,100L）
横浜市消防局消防ヘリ（散水回数 15回、散水量 8,600L）
宮城県防災ヘリ（散水回数 13回、散水量 6,600L）
福島県による航空指揮支援活動

※11：20～14：05

ドローン飛行による活動障害のため全消防防災ヘリ活動中断

- 2月28日 栃木県防災ヘリ（散水回数15回、散水量8,800L）
茨城県防災ヘリ（散水回数24回、散水量12,500L）
埼玉県防災ヘリ（散水回数48回、散水量24,000L）
東京消防庁消防ヘリ（散水回数37回、散水量11,900L）
横浜市消防局消防ヘリ（散水回数23回、散水量15,800L）
福島県による航空指揮支援活動
- 3月1日 栃木県防災ヘリ 情報収集（偵察）
東京消防庁消防ヘリ（散水5回、散水量1,700L）
横浜市消防局消防ヘリ（散水5回、散水量2,600L）
福島県による航空指揮支援活動
- 3月2日 栃木県防災ヘリ 情報収集（偵察）
- 3月3日 栃木県防災ヘリ 情報収集（偵察）
- 3月4日 栃木県防災ヘリ 情報収集（偵察）
- 3月6日 栃木県防災ヘリ 情報収集（偵察）
- 3月15日 栃木県防災ヘリ 情報収集（偵察）

(5) 自衛隊

<合計> 散水回数：399回 散水量：1,995,000L

- 2月22日 ヘリ4機（散水回数41回、散水量205,000L）
2月23日 ヘリ4機（散水回数43回、散水量215,000L）
2月24日 ヘリ6機（散水回数74回、散水量370,000L）
2月25日 ヘリ8機（散水回数65回、散水量325,000L）
2月26日 ヘリ8機（散水回数53回、散水量265,000L）
2月27日 ヘリ8機（散水回数54回、散水量270,000L）
2月28日 ヘリ6機（散水回数44回、散水量220,000L）
3月1日 ヘリ4機（散水回数25回、散水量125,000L）
3月2日 ヘリ2機（相馬原駐屯地飛行場において待機）
3月3日 ヘリ2機（相馬原駐屯地飛行場において待機）
3月3日 14時30分 自衛隊の派遣要請解除

8 消防庁の対応

- 2月24日 6時30分 特殊災害室長を長とする消防庁災害対策室を設置（第1次応急体制）
11時00分 消防庁次長を長とする消防庁災害対策本部に改組（第2次応急体制）
栃木県庁へ消防庁職員2名を派遣
足利市へ消防庁職員2名を派遣
- 2月25日 12時00分 足利市へ消防庁職員3名を派遣
13時45分 消防庁長官を長とする消防庁災害対策本部に改組（第3次応急体制）

→3月15日 15時00分 廃止

13時45分 消防庁長官から東京都知事等に対し、緊急消防援助隊の栃木県への出動を要請（3月3日14時30分に活動終了）

<連絡先>

消防庁災害対策本部（特殊災害室）

電話：(03)5253-7528

Fax：(03)5253-7538